

教科目名 中国語 (Chinese)

学科名・学年 : 全学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 朱 穎

授業の概要			
こちらが編集した教材を使って中国語のローマ字表記による基礎練習を行い、基本文型と基本語句を学習する。また、テキストに基づいて会話を練習しながら、基本的な文法を習得させる。講義を通して中国の文化事情なども紹介し、受講生の中国に対する関心と理解を深めてもらう。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)	
(1) 中国で使用される“標準語”の基本的な発音が認識できるようになる。(定期試験)			
(2) 基本的な日常会話表現が理解できるようになる。(定期試験)			
(3) 基本的な文法が理解できるようになる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	中国・中国語の紹介 子音・音の区別・有気音と無気音	○中国と中国語について理解を深める。 ○発声のポイントを理解し、練習する。	【理解の度合い】
2	単母音・巻舌音・復母音・鼻母音	○4つの異なったタイプの発音の仕方を理解し、練習する。	
3	声調・声調記号のつけ方・声調変化 基本となる数字の数え方	○四声・轻声の発音の仕方と声調記号のつけ方、声調変化を理解し、練習する。	
4	発音と四声の練習・これまでの復習	○発音の練習とこれまでの復習をする。	
5	本文(1)・文法 名詞述語文Ⅰ	○本文・文法と“不”の声調変化を理解し、会話の応用練習をする。	
6	本文(2)・文法 名詞述語文Ⅱ	○本文・文法と親族の呼び方を理解し、会話の応用練習をする。	
7	本文(3)・文法 形容詞述語文Ⅰ	○本文・文法と主な形容詞を理解し、会話の応用練習をする。	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○できなかった部分を理解する。	【理解の度合い】
10	本文(4)・文法	○本文・文法と疑問詞、助詞にあたる中国語の表現方法を理解する。	【理解の度合い】
11	会話練習	○会話の応用練習をする。	
12	本文(5)・文法	○本文・文法と姓名の尋ね方や紹介の仕方を理解する。	
13	会話練習	○中国語で自己紹介ができるようになる。	
14	これまでの復習	○授業内容を復習し、理解を深める。	
15	前期期末試験		
	前期期末試験の解答と解説	できなかった部分を理解する。	
履修上の注意	3分の2以上出席しなければ受験資格を喪失するので、注意すること。		【総合達成度】
教科書	岩佐昌璋・梁愛蘭著,「よくわかる中国語」,光生館出版。		
参考図書	三野昭一著,「中国語文法の基礎」,三修社出版。		
関連科目			
総合評価	達成目標の(1)～(3)について2回の定期試験の平均を総合評価とする。 総合評価が60点以上を合格とする。		
			【総合評価】 点